

本資料は、マニユライフ・ファイナンシャル・アジアがトロントとシンガポールにおいて4月8日（現地時間）に発表した、英文プレスリリースの日本語要約です。



ニュース・リリース

Ref No. 03/2015

DBS とマニユライフ

アジア4市場における15年間のバンカシュアランスの提携契約を締結

シンガポール／トロント - DBS 銀行とマニユライフ・ファイナンシャル・アジアは、シンガポール、香港、中国、インドネシアの4市場における15年間のバンカシュアランス提携の契約を結んだことを発表しました。この契約は、2016年1月1日に発効します。

今回の保険の銀行委託販売の独占提携は、DBSのアジアにおける秀でた銀行の営業販売網と、長年にわたりアジアでビジネスを展開している大手グローバル企業であるマニユライフの保険とウェルス・マネジメントの専門的知識の相乗効果が期待されます。

今後、同アジア4市場の個人、富裕層、中小企業など600万に上るDBSのお客さまは、同銀行の持つ200以上の支店からなる巨大なネットワーク、2,000名を超える専門の販売担当者、インターネットやモバイル・バンキングを通じて、マニユライフの高品質な生命保険と医療保険の商品を購入することができます。

DBSは、マニユライフとの契約締結にいたるまで、顧客対応、専門知識、実績、長期的な将来性など、様々な面を検討して保険のパートナーの選定プロセスを実施し、アジア内外の数多くの大手保険会社から注目を集めました。

マニユライフは保険およびウェルス・マネジメントの商品とサービスを提供する、世界第6位¹の大手金融サービス・グループです。アジアでは118年の実績があり、1897年に香港、1898年にはシンガポールで事業を開始しています。現在、香港では年金とウェルス商品の大手であり²、アジア12市場での顧客数は600万を超えています。

¹ 出典: Forbes Global 2000 Leading companies - 2014年5月7日

² Towers Watson MPF Express: 2014年9月30日時点

今回の提携により、DBS とマニュライフはお互いの強みを共有し、ビジネスの大きな成長を見込んでいます。

- DBS は、シンガポールのバンカシュアランス事業の大手として、アジア 4 市場での生命保険販売を更に強化し、お客様のニーズにあった革新的な保険商品とサービスを提供していきます。
- 一方、マニュライフは、まだ十分に保険に入っていない人や、退職に備えて資金を蓄える必要のある人が多くいるアジアの 4 市場において、DBS のお客様へ、独占的に商品とサービスを提供できます。

DBS グループ・ホールディングスの CEO ピユシュ・グプタのコメント

「バンカシュアランスは DBS の主要事業であり、お客様に提供する重要なサービスのひとつです。マニュライフの顧客を大切にする姿勢とアジアでの長きにわたるビジネス経験は、当社のビジョンと合致しています。マニュライフとは、すでに、シンガポール、香港、インドネシアでビジネスを展開していますが、今後は、アジアにおける最も重要なパートナー、また、グローバル規模でも最大のパートナーとなります。今回の保険のバンカシュアランスにより、お互いの更なる成長を期待しています。」

マニュライフ・ファイナンシャルの社長兼 CEO ドナルド A. グロイオンのコメント

「アジアの重要な 4 市場において、当社が DBS のバンカシュアランス・パートナーとして選ばれたことを大変うれしく思います。DBS は優れた実績と将来性のある素晴らしい企業です。お互いをよく理解し、アジアにおける金融サービス・グループのリーダーとして、今後も成長へむけて必要不可欠な存在になりたいと考えています。今回の 15 年契約は、当社と DBS が築いてきた良好な関係のもとに実現しました。また、当社のアジアにおける成長を促し、保険事業の拡大と多様化が進み、さらに幅広い層のお客さまに商品とサービスを提供できるようになるでしょう。」

DBS のコンシューマー・バンキング&ウェルス・マネジメント グループ副部長 ドメニック・フダのコメント

「アジアの大手グローバル保険会社であるマニュライフのパートナーになれたことをうれしく思います。今後は、当社のお客さまに様々な保険商品や貯蓄商品を提供し、お客さまやご家族の将来に備えた医療保険やリタイアメント商品と、確かな安心をお届けすることができます。」

マニュライフ・アジアの社長兼 CEO ロイ・ゴリのコメント

「DBS とマニュライフは、互いの強みとビジョンを効果的に活用し、特に、お客様へより良い商品やサービスを提供するという共通の目標実現において協力していきます。DBS は、非常に優れた販売力や、広範囲にわたる顧客基盤をもっており、バンカシュアランス事業にも素晴らしい実績があります。お互いにより良い関係を築くことができ、とてもうれしく思います。」

マニユライフは内部資金を使用し、DBS に対して 12 億米ドル³の契約金を支払います。この支払いは両社により 15 年で償却されます。今後も、成功に応じ、継続的または変則的な支払いが発生する予定です。マニユライフでは、今回の提携が 2017 年の一株当たり中核利益に累計拡大すると見込んでいます。また、契約金の支払いにより、2016 年 1 月 1 日、もしくはそれまでに、マニユライフの自己資本率⁴は 10 ポイント減少すると予測されます。

スライドのプレゼンテーションはこちらから入手できます：

www.manulife.com/investorrelations

以上

DBS について

DBS - アジアを活性化し息を吹き込む

DBS はアジア有数の金融サービス・グループで、17 の市場に 250 以上の支店を保有しています。本社はシンガポールにあり、DBS はアジアの主要 3 地域、中国、東南アジア、南アジアにおいて存在感を拡大しています。当銀行の資本基盤、および「AA-」と「Aa1」の信用格付けは、アジア太平洋地域で最高です。DBS は、地域におけるリーダーとして認められ、ファイナンシャル・タイムズ・グループのメンバー銀行による「アジア最優秀銀行」として、また「グローバル・ファイナンスによる「アジア太平洋地域最優秀銀行」として認定されました。当銀行はまた、2009 年から 2014 年まで 6 年連続で、グローバル・ファイナンスによる「アジアで最も安全な銀行」と認定されました。

DBS はアジア全域で消費者、中小企業、コーポレート・バンキング活動においてあらゆる種類のサービスを提供しています。DBS はアジアで誕生し、成長を遂げた銀行であるため、地域で最も活気に満ちた市場でビジネスを遂行するうえでの複雑性を理解しています。こうした市場見識と地域の連結性により、DBS は選り抜きのアジアの銀行であることを目指しながら成長してきました。DBS は、顧客との持続的な関係を築き、アジアの道路に堤防を築いて社会事業を支援することを通して地域社会に良い影響を与えることに取り組んでいます。また、シンガポールとアジア全域で、5000 万シンガポールドルの基金を設立し、企業の社会的責任の取り組みを裏付けました。

DBS は、アジアに幅広い事業ネットワークを持ち、スタッフを雇用して強化することに重点を置いているため、刺激的なキャリア機会を提供しています。DBS は 40 以上の国籍にわたる、21,000 人の社員全員の情熱や関与、やる気を認めています。詳細については、www.dbs.com にアクセスしてください。

マニユライフについて

マニユライフは、主にアジア、カナダ、米国を中心に事業を展開しているカナダ系大手金融サービス・グループです。米国においてはジョン・ハンコックのブランドで、その他の国ではマニユライフとして事業を展開しています。お客様の重要な金融判断に役立つ、パワフルで安定した信頼性の高い先進的なソリューション提供しています。職員、販売担当者、販売パートナーの国際的ネットワークを通じて、数百万のお客様に経済的保障やウェルス・マネジメントのための商品およびサービスを提供しています。また、機関投資家のお客さまには、資産運用サービスも提供しています。マニユライフおよびその子会社の運用資産は、2014 年 12 月 31 日現在で約 6,910 億カナダドル (5,960 億米ドル) となっています。

マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーションは、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所、フィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニユライフについての詳細はホームページ (www.manulife.com) をご覧ください。

詳細については、以下にお問い合わせください。

³ 16 億シンガポールドル (SGD) の契約金は、0.7351 米国ドル/シンガポールドルのレートで、米国ドルに変換されました (出典: Bloomberg 2015 年 4 月 7 日)

⁴ マニユライフ生命保険株式会社の最低継続資本金/サープラス要件を参照

エドナ・コー
グループ・ストラテジック・マーケティング&コ
ミュニケーションズ
DBS 銀行
電子メール：ednakoh@dbs.com
電話：(65) 6878 8134
Fax：(65) 6222 4478
携帯電話：(65) 9753 0117

ロイ・チュー
グループ・ストラテジック・マーケティング&コ
ミュニケーションズ
DBS 銀行
電子メール：roychew@dbs.com
電話：(65) 6878 8544
Fax：(65) 6222 4478
携帯電話：(65) 9727 9278

デイビッド・ノリス
メディア・リレーションズ・アジア
マニユライフ
+852 2202 1749
david_norris@manulife.com

シーン・パステルナーク
メディア・リレーションズ・ノース・アメリカ
マニユライフ
+1 416 852-2745
sean_pasternak@manulife.com

ロバート・ベローズ
インベスター・リレーションズ
マニユライフ
+1 416 852-8982
robert_veloso@manulife.com

アイリーン・タム
インベスター・リレーションズ・アジア
マニユライフ
+852 2202-1101
eileen_tam@manulife.com

将来の見通しに関する情報についての注意

マニユライフは随時、本文書を含め、文書および口頭またはいずれか一方の将来の見通しに関する情報を作成します。さらに、当社の代表者は、アナリスト、投資家、メディアおよびその他向けの口頭の将来の見通しに関する情報を作成する場合があります。全ての係る情報は、カナダ証券法および 1995 年米国私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に従って作成されます。

本文において将来予測を含む記述には、マニユライフ生命保険会社の 1 株当たりの中核利益、最低継続資本剰余金の所要資本 (MCCSR) 比率など、今回の合意によりマニユライフの戦略、経営、財務業績に対して期待される効果について述べた情報を含みますが、これに限定されません。

これらの将来の見通しに関する情報は、特にマニユライフの目的、目標、戦略、意向、計画、信念、期待、および予測にも関連します。これらの情報は、一般的に“will”（「予測」）、“expect”（見込み）、“intend”（「意図」）、その他類似する意味を持つ語句や表現によって示され、また、可能性があるかもしくは仮定としての将来の結果に関する記述が含まれることがあります。将来の見通しに関する情報に反映されている予測は妥当であると信じていますが、そのような情報にはリスクや不確実性が含まれるため、過度に信頼するのは避け、いかなる形でも市場またはアナリストの確実な予想と見なしてはなりません。

将来の見通しに関する情報には、1 株当たりの中核利益の予測、予想売上高、MCCSR 比率など特定の重要要素や想定条件が適用されており、実際の結果は、これらの文面において記述または示唆された情報と大幅に異なる場合があります。実際の結果が予測と大幅に異なるケースが起こりうる重要要素には以下を含みますが、これらに限定されません：一般のビジネスおよび経済情勢（業績、ボラティリティ、株式市場の相関性、金利、クレジットおよびスワップ金利の спреッド、為替レート、投資による損失および債務不履行、市場の流動性、保証人、再保険者、およびカウンターパーティーの信用力、その他）、法律規制の変更、会計基準の変更、戦略計画の実施能力、戦略計画の変更、当社の評判を維持する能力、営業権または無形資産の侵害、将来の課税資産に対する予算割当て、罹病、死亡、および株主の行動に関する予測精度、会計方針および保険数理手法に適用されるその他の予測の精度、競合および統合レベル、今回の合意にかかわるバンカシユアランス・チャンネルを含む既存および将来の流通チャンネルを通じた商品の販売流通力、カウンターパーティーから受け取った情報の精度、税務監査、税務手続き、または同様の手続きを含む義務、法律、および規制上の手続きをカウンターパーティーが満たす能力、当社が商品およびサービスを変化する市場に順応させる能力、当社が主要な経営幹部、職員、代理店を引きつけて維持する能力、複雑なモデルまたは使用モデルに含まれる欠陥についての適切な使用および解釈、北米以外の当社事業所にかかわる政治、法律、経営、その他のリスク、今回の合意で予想される、予想売上高、販売利益などの便益の一部またはすべてを実現できないこと、マニユライフまたは公共インフラシステムの重要要素の崩壊または変更、当社が知的財産を保護する能力、ならびに、権利侵害の訴訟リスク。

実際の結果が見通しと大きく異なる可能性がある重要なリスク要因、および将来の見通しに関する情報を作成する際に適用される重要な要因および想定に関する追加情報は、当社の直近の年次報告書の経営陣の議論と分析の「リスク管理とリスク要因」および「重要な会計上および保険数理上の方針」、または当社の直近の中間報告書の経営陣の議論と分析の「リスク管理およびリスク要因の更新」、「重要な会計上および保険数理上の方針」に従った直近の AIF の「リスク管理」、そしてカナダの証券規制当局に当社が届出した直近の年次報告書および中間報告書の連結財務諸表の「リスク管理」の注記の中、ならびその他に記載されています。

この文書の将来の見通しに関する情報は、別途指定がない限り、本文書の日付時点で、投資家やその他の人々を支援する目的で示されるもので、ほかの目的には適さない場合があります。法律で義務付けられている場合を除き、当社が将来の見通しに関する情報を更新することはありません。